

地域医療連携検討ワーキンググループについて

- 県は、地域医療の確保を図り医療機関の連携のあり方を検討するため、平成 20 年 3 月に「公立病院等地域医療連携のための有識者会議」が設置され、平成 21 年 2 月には同会議から提言がなされた。
- 各 2 次医療圏では、「公立病院等地域医療連携のための有識者会議」と調整を図りつつ、救急医療体制及び周産期医療体制を中心とした地域医療連携のあり方について検討するため、地域医療連携検討ワーキンググループを開催している。
- 今年度は、有識者会議提言後の地域の取組状況、愛知県地域医療再生計画策定後の状況等について協議した。

【救急医療】

平成 21 年 2 月 25 日有識者会議提言	地域の取組状況	平成 23 年 11 月 愛知県地域医療 再生計画	愛知県地域医療再生計画策定後の 状況	予定
【入院救急医療体制】				
○ 圏域北部における救急医療の確保を図るため、東海市民病院と知多市民病院の統合を視野に入れた医療機能連携の検討を積極的に進めるべきである。	東海市民病院&知多市民病院 ○ H21.7.3～「東海市・知多市病院連携等協議会」を開催。 ○ H22.4.1 経営統合。	○ 急性期対応医療機関整備事業	○ 東海市民病院本院解体工事 ○ H24.5.7 東海市民病院本院移転を終了 ○ H25 建設工事着工	○ 平成 27 年度 「公立西知多総合病院」 完成予定。 〔ICU8 床、救急病床 12 床、結核モデル病床 10 床、緩和ケア病床 20 床。〕
○ 圏域中央部における救急医療の確保を図るため、常滑市民病院は、適正病床数への移行を図りつつ、一般救急医療体制の確保のため、当面、市立半田病院との医療機能連携を進める必要がある。	常滑市民病院と市立半田病院 ○ H22.7.21～ 半田市・常滑市医療連携等協議会を開催。	○ 連携支援病床整備事業	○ 常滑市民病院の整形外科常勤医を、市立半田病院より週 1 回派遣。 ○ H24.9.24 市立半田病院は地域医療支援病院に指定 ○ H25 建設工事着工	○ 平成 27 年度 「常滑市民病院」 新病院完成予定。(連携支援病床 50 床)
○ 緊急性の高い救急医療については、市立半田病院、厚生連知多厚生病院を中心に確保されていると考えられるが、両病院の医療機能強化を図る必要がある。		○ ドクターカー整備事業	H25.4 ドクターカー配備	
○ 「脳卒中」において、市立半田病院の神経内科の充実が望まれる。				
【外来救急医療体制】				
○ 半田市においては、小児科について市立半田病院の外来を利用し、地区医師会の応援により週 2 日平日夜間診療を実施している。			○ 定点による診療体制が望ましいが、圏域の事情により、現状維持する。	
○ 知多郡においても、厚生連知多厚生病院の外来を利用し、地区医師会の応援による休日診療実施に向けて検討を行っているところであり、今後こうした動きを拡大し、推進していくことが望まれる。	○ H21.10～ 厚生連知多厚生病院と地元(南知多町・美浜町) 医師会が話し合いを行い、4 つの医療機関が在宅当番日に厚生連知多厚生病院に出向き診療を行っている。			
【周産期医療】				
	地域の取組状況	平成 23 年 11 月 愛知県地域医療 再生計画	愛知県地域医療再生計画の進捗状況	予定
	小児保健医療総合センター ○ H13.11.1 育児もしもしキャッチ開始 ○ H22.4～ 小児救急土日祝日開始 ○ H22.6～ ドクターからの相談対応	○ 3 次小児救急医療に対応するセンターの整備。	○ H25 3 次小児救急医療体制整備 ○ H25.4.22～ 土日月曜日祝日の小児科二次救急受け入れ開始	○ 平成 27 年度 救急棟を整備予定。(PICU16 床) ○ 平成 28 年度 周産期部門を設置して NICU 及び先天異常胎児の出産に対応する産科を整備予定。
	○ H10.7.1 市立半田病院は、地域周産期母子医療センターに指定されている。			